

令和 8 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 8 年 5 月 19 日(火) 18 時 30 分～ 20 時 30 分		
開催場所	三隅まちづくりセンター	参加人数	2 人
出席議員	大谷 学、 足立 豪、 柳楽 真智子		
テーマ別に 出た意見	【総務委員会】防災と避難行動計画について ～災害が起きたらどうしますか？自分と家族を守るための行動～ ・ 自主防災組織の整備は進んでいるが、個人・家庭・地域ごとのマイタイムライン作成が進んでいない。 ・ ハザードマップの活用促進と避難行動計画の作成支援が必要。 ・ LINE など身近なツールを活用した避難情報の共有や安否確認を進めてほしい。 ・ アプリを活用したマイタイムライン作成の導入を検討してほしい。 ・ 避難済み世帯が分かる玄関表示など、避難状況の見える化が必要。 ・ 自主防災組織にタブレットを配備し、避難者名簿や安否情報を管理する仕組みを導入してはどうか。 ・ 学校体育館へのエアコン設置は、避難所環境改善と教育環境向上の両面で重要。 ・ 段ボールベッドやパーテーションなど避難所環境の整備を進めるべき。 ・ デジタル技術を活用した避難情報共有。 ・ 避難所機能強化（体育館空調、段ボールベッド等）		
	【文教厚生委員会】子どもや高齢者の暮らしの困りごと ・ 高齢者だけでなく子どもも移動手段不足に困っている。 ・ 介護分野の人材不足が深刻化している。 ・ 外国人材の活用も視野に入れた介護人材確保が必要。 ・ 地域包括支援センターや見守り体制の維持・充実が求められる。 ・ 出生数の減少が深刻で、安心して子育てできる環境整備が必要。 ・ 学校教員の地域理解不足が課題。浜田市の産業や歴史、外国人住民の実態などを教育に活かしてほしい。 ・ 地域と学校の連携強化が必要。		

	【産業建設委員会】100年先に残したい浜田の食 ・ 郷土料理だけでなく、地域に長く続く個人経営の飲食店も残したい。 ・ 店舗兼住宅など事業承継しにくい環境がある。 ・ 味や顧客との関係性を引き継ぐことが難しい。 ・ 職人が技術を教えない文化も継承の障壁となっている。 ・ 西条柿を活用した干し柿など、加工による高付加価値化が期待される。 ・ 地域食材や食文化を観光資源として磨き上げる必要がある。
自由意見	【総務委員会】 ・ 地域の助け合いによる送迎やライドシェア的な仕組みを検討してほしい。 ・ タクシー助成は事業者補助ではなく利用者支援型も検討すべき。 ・ 公共交通の地域間格差がある。
	【文教厚生委員会】 ・ 看護師確保のための修学資金制度拡充。

	【産業建設委員会】 ・ 中山間地域の再生（耕作放棄地活用・就労支援）。 ・ 道の駅運営における地元産品活用や雇用創出。 ・ 観光施設の環境改善と利用促進。
--	---

令和 8 年 6 月 1 日 柳 楽 真智子